

長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム

アンケート結果

「図書館協会のあり方について」

実施期間: 令和7(2025)年1月8日～2月14日

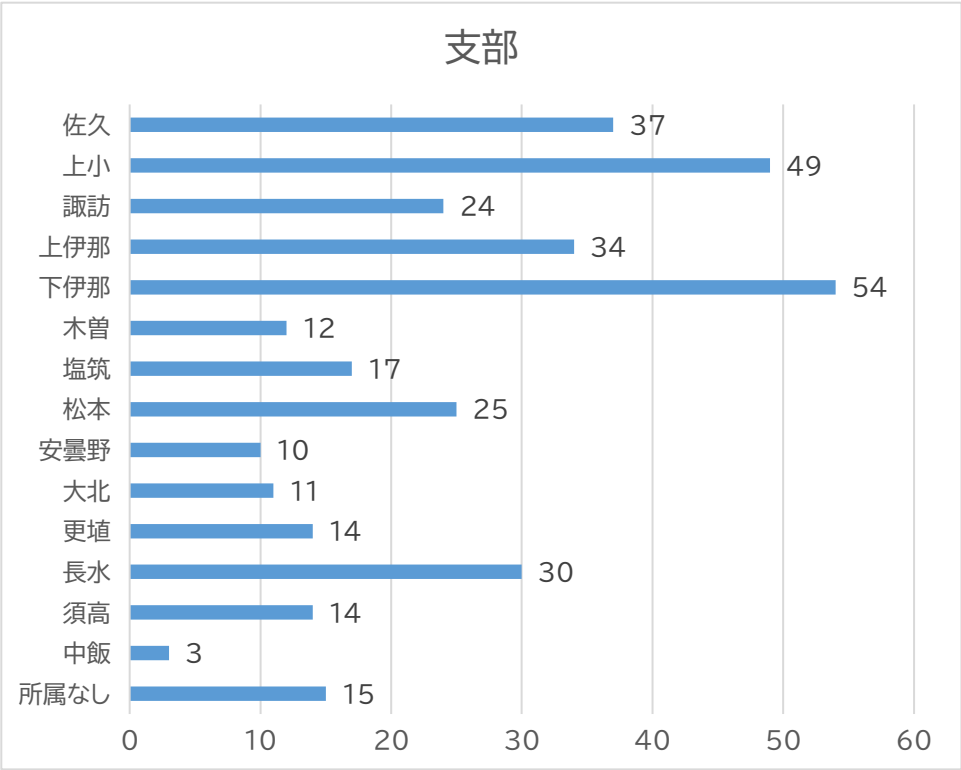
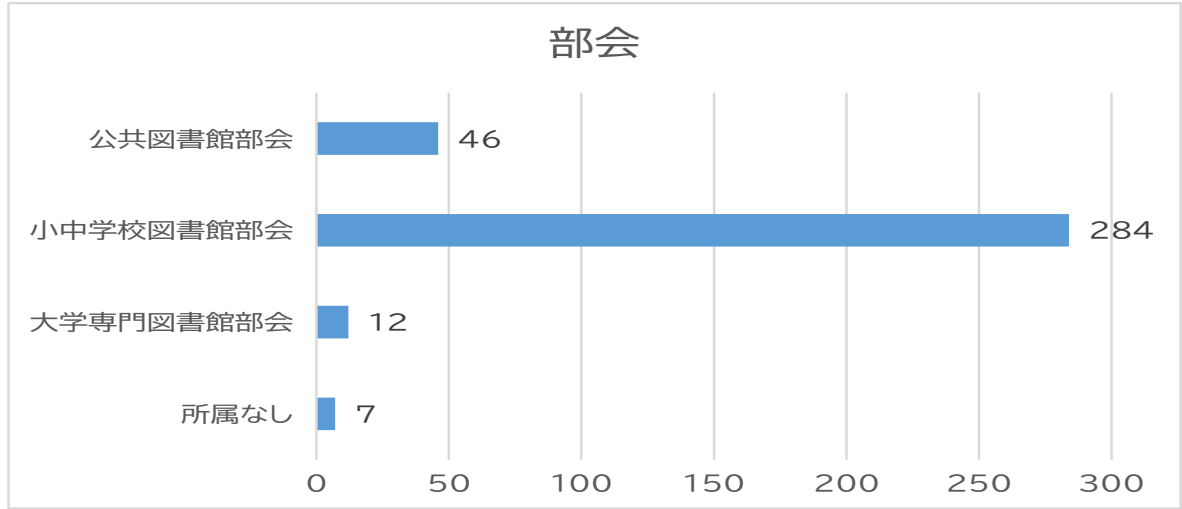
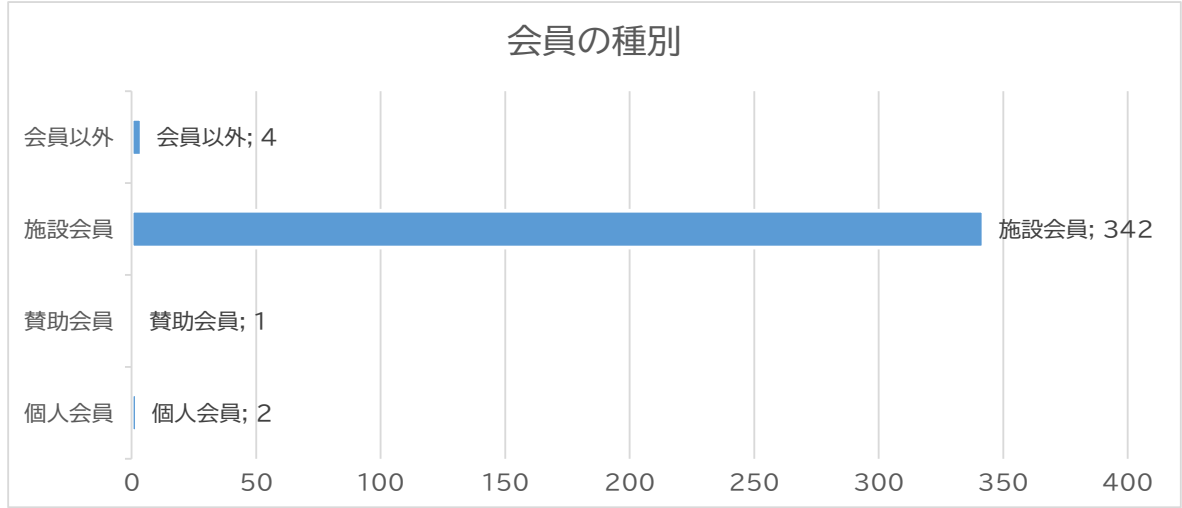
回答数 : 349(回答対象数: 665)

回答率 : 52.5%

長野県図書館協会

(アンケート回答内容の要約に生成AI(Microsoft Copilot)を使用しています。) 1

基礎データ



	回答数	対象者数	回答率
公共図書館部会	46	71	64.8%
小中学校図書館部会	284	534	53.2%
大学専門図書館部会	12	21	57.1%
その他	7	39	17.9%
計	349	665	52.5%

基礎データ（アンケート項目一覧）

アンケート項目一覧
（図書館協会について）組織・体制について（更なる見直し等についてご意見をお願いします。）
（図書館協会について）部会や支部との情報共有のあり方（現状と課題）について
（図書館協会について）会費について
（図書館協会について）評価できる点
（図書館協会について）改善すべき点、要望など
（図書館協会の事業について）長野県図書館大会
（図書館協会の事業について）研修のあり方について（研修の体系整理など）
（図書館協会の事業について）研修のあり方について（受講料の徴収について）
（図書館協会の事業について）図書館職員等ステップアップ専門研修
（図書館協会の事業について）読み聞かせ講座
（図書館協会の事業について）ホームページ
（公共図書館部会の事業について）館長会議・館長研修会
（公共図書館部会の事業について）公共図書館初任職員研修会
（公共図書館部会の事業について）中堅職員育成のための研究会「これからの公共図書館研究会」
（公共図書館部会の事業について）信州横断「昭和・現代史」講座
（公共図書館部会の事業について）広域の公共図書館長会議
（公共図書館部会の事業について）広域の公共図書館担当者会議
（公共図書館部会の事業について）広域独自の事業
（公共図書館部会の事業について）その他（公共図書館部会に期待すること、課題など）
（小中学校図書館部会の事業について）地区（東信・北信・中信・南信）学校図書館研究大会
（小中学校図書館部会の事業について）司書教諭委員会
（小中学校図書館部会の事業について）学校司書委員会
（小中学校図書館部会の事業について）長野県読書感想文コンクール
（小中学校図書館部会の事業について）読書感想画コンクール
（小中学校図書館部会の事業について）すいせん図書（推薦課題図書選定委員会）
（小中学校図書館部会の事業について）部会だより
（小中学校図書館部会の事業について）その他（小中学校図書館部会に期待すること、課題など）
（大学専門図書館部会の事業について）長野県図書館大会・大学専門図書館部会分科会
（大学専門図書館部会の事業について）信州共同リポジトリ研修会
（大学専門図書館部会の事業について）信州共同リポジトリ年次報告会
（大学専門図書館部会の事業について）その他（大学専門図書館部会に期待すること、課題など）

組織・体制について（まとめ）

◆ 現行体制に対する評価

- ・スッキリしたと思う。現状で良いのではないか。
- ・わかりやすくなって良い。現状でよろしいかと思う。
- ・迅速化できて良かったと思う。
- ・業務が円滑になるような体制になれば良いと思う。

◆ 図書館協会の存在感と認知度

- ・公共図書館部会では図書館協会の存在が薄かった。組織や事業を広く知ってもらう必要がある。
- ・遠い存在に感じている。現場の意見が反映される参加しやすい組織であってほしい。
- ・理事会の内容が会員にわかること、会員の意見が反映される組織が望ましい。会議録も公開されると良い。

◆ 組織運営と体制の改善

- ・実状に合わせた運営体制を整えていく姿勢で良い。変化を恐れずに運営を行ってほしい。
- ・更にスリム化を進めてほしい。
- ・理事4人→3人、副会長2人→1人はどうか。
- ・常務理事会が理事会になっただけで構成員が増えている。具体的な働きがわからない。
- ・体制を変更して日が浅いので、もうしばらく運用を行ってから判断したい。
- ・理事会に一本化したのは良いが、実際に機能しているのか不明。意思決定の方法がわからない。

◆ 認識不足と情報不足

- ・廃止した効果と現在の組織・体制の課題が不明。
- ・直接かかわることがないのでわからない。
- ・学校現場で司書教諭として関わっているが、図書館協会の組織や体制について判断ができない。
- ・参考資料を見ても具体的な働きがわからない。

◆ 今後の期待

- ・社会情勢の変化に柔軟に対応できるように組織運営の迅速化は良い。
- ・会の開催や研修等がより柔軟に行われることを期待。
- ・理事会のスリム化は意義がある。

部会や支部との情報共有のあり方（現状と課題）について（まとめ）

◆ 現状維持の意見:

- ・ 現状のままで良いという意見がある。
- ・ 組織がすっきりして良いという意見がある。

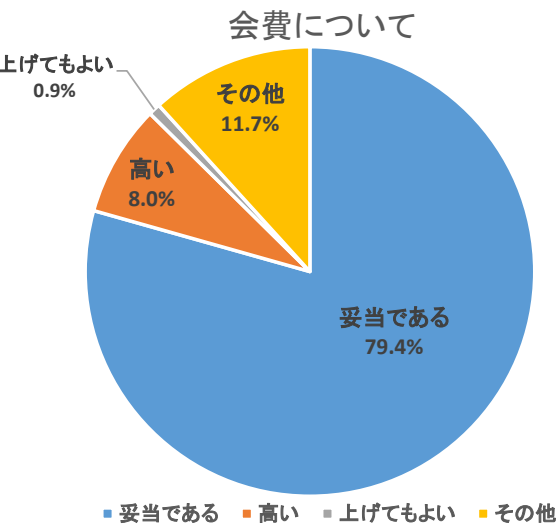
◆ 情報共有の課題:

- ・ 図書館協会からの情報提供はあるが、現場の意見が反映される仕組みが必要。
- ・ 「たより」などで情報を得るが、身近に感じられない。
- ・ 部会の課題や内容が十分に把握できていないため、共有方法を工夫してほしい。
- ・ 図書館業務に携わる人が多いが、協会の業務について理解している人は少ない。
- ・ 公共図書館部会と学校図書館部会の情報共有が進んでいない。
- ・ オンライン会議の導入を希望する声がある。
- ・ 学校に情報が届くまで時間がかかることが多い。
- ・ 部会・支部での情報交換が不足している。
- ・ 個人会員への情報共有が不十分。
- ・ 支部長が小・中学校長の場合、公共図書館への情報共有が難しい。
- ・ 県協会からの情報発信にタイムラグがある。
- ・ 市町村の図書館職員が情報を得る時間がない。
- ・ 情報共有が不十分で、知らないことが多い。
- ・ 部会や支部を越えた情報共有ができていない。
- ・ 支部内での会議や研修のレジューメを協会事務局へ送り、ウェブサイトで共有する仕組みが必要。

◆ 組織運営の改善提案:

- ・ 公共図書館は県立長野図書館に依存しており、図書館協会との接点が少ない。
- ・ 県立長野図書館が多忙であるため、仕事の分担を明確にする必要がある。
- ・ 図書館協会の業務がパートの事務員1名で対応できるのか疑問。
- ・ 組織の目的を明確にしてほしい。
- ・ 司書だけでなく、町教育委員会も参加してほしい。
- ・ 北信越地区の研究大会の資料を開催地に引き継ぐ仕組みが必要。
- ・ 支部代表からの情報提供が分かりやすい。
- ・ 大会や部会の内容を「お便り」で知らせている。
- ・ 支部との接点が持ちにくいと感じる人がいる。

会費について（※ 現在の年会費 個人：3,000円、施設：3,200円、賛助：1口5,000円）



項目	件数
妥当である	277
高い	28
上げててもよい	3
その他	41
総計	349

※ 「その他」の主な意見(自由記載)

- ◆ 収入減少と事業展開
 - ・会員数の減少に伴い収入が減少しているため、収入に見合った有効な事業展開が必要。
- ◆ 市からの補助
 - ・市からの補助がなくなる可能性があり、なくなった場合は学校の負担が増えることを懸念。
- ◆ 会費の妥当性と透明性
 - ・会費の理由を明確にしてほしい。
 - ・支出内訳が明確でないため、妥当かどうか分からない。
- ◆ 会費の減額と割引
 - ・学校でも予算削減が求められているため、会費も低く抑えてほしい。
 - ・紙での配布が減っているため、通信費や印刷費を会費減額として検討してほしい。
 - ・個人はもう少し割引があっても良いのではないかな。
- ◆ 会費の使い道と効果
 - ・会費の使い道がよくわからない。
 - ・研修や情報を受ける時間が取れず、恩恵を受ける機会が少ない。
- ◆ 他県や他施設との比較
 - ・他県の会費がどの程度か知りたい。
 - ・公立図書館では研修費の捻出が容易ではないため、研修費を無料にするなら施設会費を値上げしても良い。
- ◆ その他の意見
 - ・物価高騰の影響を受けているため、会費は極力安くしてほしい。
 - ・様々な活動の運営に役立てられていると感じる。

図書館協会について、評価できる点（まとめ）

◆ 図書館の活動と情報発信

- 全ての館種が揃っていることが強み
- 図書館大会等で公共図書館の司書と意見交換ができる
- 図書館や本に関する情報の発信がありがたい
- 長野県内全ての図書館をまとめる組織として信頼
- 図書館の利用が減りつつある中で活動を継続

◆ 研修とイベント

- 多様な研修プログラム、オンライン研修の導入
- 頻繁にイベントや講座を開催、貴重な研修の場を提供。ステップアップ研修、読み聞かせ講座などの実施、共催助成。また、研修会の情報をメールで送付

◆ 情報共有とネットワーク

- 地域に根ざしたネットワーク形成
- 県内の情報共有ができる
- 他図書館の事例を共有
- 定期総会やHPでの情報発信の継続
- 部会内での交流が図れる

◆ 図書館運営の支援

- 図書館運営の新しい形を考え、実務に役立つ情報を発信
- 実務マニュアルの作成
- パスファインダー講習会の実施とWEB掲載
- 課題図書を選出、推薦本が選書の参考になる

◆ 司書の支援と交流

- 司書の資質向上、情報交換や共有のための研修、初年採用の図書館職員のための研修、交流の場があることがありがたい
- 司書の仕事の違いを学び、解決策を模索

◆ その他の活動

- 読書感想文コンクールの継続や図書館大会の開催
- 魅力的な講師による講演会の開催
- 職員の待遇改善に取り組む
- 収支が明らかになっている点が良い

図書館協会について、改善すべき点、要望など（まとめ）

◆ 図書館の強みと連携

- 全ての館種が揃っているが、強みが十分に生かされていない
- 子どもの読書活動推進計画等と連携することで強みを発揮できる

◆ 事務手続きと運営

- 読書感想文コンクールの事務手続きが旧態依然
- 意思決定の過程が不明瞭
- 明快な運営を求める声

◆ 参加しやすさと距離感

- 遠いと参加しにくい。物理的・心理的に距離を感じる
- 現場の図書館と乖離している感じがする

◆ 公共図書館と学校図書館の連携

- 公共図書館と学校図書館が一緒に組織であることの良さを発信してほしい
- 公共図書館と学校図書館の間にもう少し交流があればよい。公共図書館と学校図書館の連携ができていない

◆ 研修と育成

- 司書教諭の育成について考えてほしい。また、司書研修のための講師紹介を希望
- オンライン研修の増加を希望
- 多彩な研修会講師の情報提供を希望。講座・講演会等の講師の人材バンクの案内を希望

◆ 資料と情報提供

- 掲示に利用できるフリー素材の配布を希望
- 長野県の図書館事情や状況の定期的な知らせを希望

◆ 組織のつながりと参加機会

- 各部会同士のつながりを持つ機会を作してほしい。会員同士の横のつながりがない
- ブロックごとの組織か支部の組織が必要

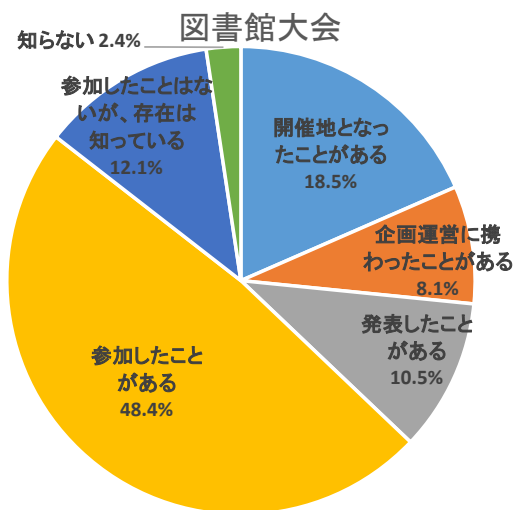
◆ 図書館職員の雇用と資格

- 図書館会計年度任用職員の継続雇用についての市町村への働きかけを希望

◆ その他の要望

- 図書館業務に携わる職員への理解促進が必要
- 協会のPR不足を感じる

(図書館協会の事業について) 長野県図書館大会



項目	件数
開催地となったことがある	18.5%
企画運営に携わったことがある	8.1%
発表したことがある	10.5%
参加したことがある	48.4%
参加したことはないが、存在は知っている	12.1%
知らない	2.4%
合計	100.0%

(複数回答可)

◆ 開催地の負担と改善提案

- ・開催地区の負担が大きい。開催地の負担軽減のため、地域で共同開催や数年に一度の開催を検討
- ・地元実行委員会の意向が反映されやすい意思決定の道筋が必要
- ・図書館協会事務局の主体的な関与が求められる
- ・隔年開催や開催頻度の減少を提案

◆ 参加費・交通費の問題

- ・学校司書の参加費や交通費の補助がない
- ・参加費や交通費の明確化が必要

◆ オンライン参加の要望

- ・ZOOMやオンラインでの参加が可能になると良い
- ・サテライト会場の増設を希望。オンライン参加ができると遠方からの参加が容易になる

◆ 講演会・講師の選定

- ・著名な作家の講演が参加意欲を高める
- ・図書館協会による講師選定の努力が求められる
- ・基調講演や分科会の充実を希望

◆ 参加しやすいさの向上

- ・遠方での開催が参加の障害となる
- ・平日開催や土日開催の見直しが必要
- ・参加しやすい日時設定が課題

◆ 情報共有と実践発表

- ・各学校や公共図書館の実践発表が参考になる
- ・公営図書館と学校図書館の連携が重要
- ・実践事例集の公開や情報発信を希望

◆ その他の意見

- ・図書館大会の趣旨が見えにくい
- ・司書教諭の業務軽減が必要
- ・図書館大会と学校図書館研究大会の融合を提案
- ・手話通訳の継続を希望
- ・交流時間の確保が望ましい

(図書館協会の事業について) **研修のあり方について** (まとめ)

◆ オンライン研修の活用

- ・オンライン研修の拡充を希望
- ・オンライン参加が可能だと参加しやすい
- ・オンライン研修やアーカイブ研修の増加を希望
- ・Zoomやサテライト開催、後日動画配信の活用を希望

◆ 研修の開催時期と場所

- ・長期休みや土日、夏期休業中の研修が望ましい
- ・県内複数地域での開催を希望
- ・主要都市での開催を希望
- ・近隣市町村での開催を希望

◆ 研修の内容と形式

- ・直接参集とオンラインのハイブリッド形式を希望
- ・短時間で現場に即した研修を希望
- ・初歩的な研修やゼロから学べる研修を希望
- ・魅力的な研修や分科会の充実を希望

◆ 参加のしやすさ

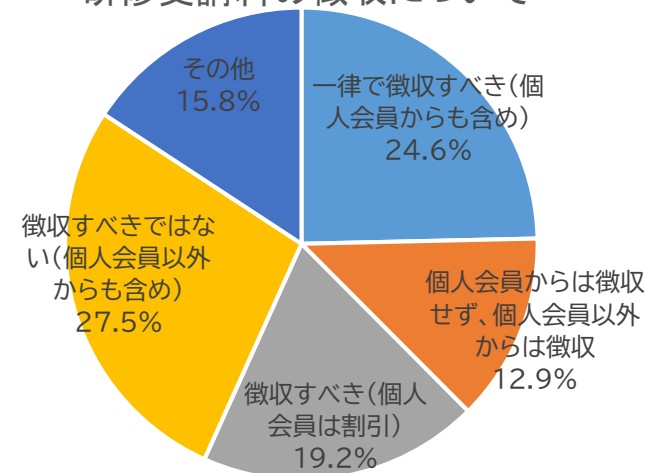
- ・交通費や勤務時間の問題で参加が難しい
- ・遠方での研修は参加が難しい
- ・参加しやすい時間帯での開催を希望
- ・参加しやすい環境づくりを希望

◆ その他

- ・研修資料のデータ配信の拡充を希望
- ・研修がいくつもあり、協会以外の研修も含めて、全体に見える化・スリム化が必要
- ・研修計画の早期把握と情報共有の充実を希望
- ・各部会からの課題吸い上げと研修計画の立案を希望
- ・自主的な研修の流れを尊重した研修の在り方を模索

(図書館協会の事業について) 研修受講料の徴収について

研修受講料の徴収について



項目	件数
一律で徴収すべき(個人会員からも含め)	86
個人会員からは徴収せず、個人会員以外からは徴収	45
徴収すべき(個人会員は割引)	67
徴収すべきではない(個人会員以外からも含め)	96
その他	55
総計	349

◆ 無料参加の希望

- 会費で予算を確保し、無料で受講させてほしい
- 無料で参加できるとありがたい
- 受講料が安いほうが参加しやすい
- できれば無料参加がありがたい
- 無料で開催できればありがたい

◆ 費用徴収の条件

- 必要経費であれば徴収してもよい
- 講師への謝礼などで費用がかかる場合は徴収
- 材料費等がかかる場合は多少徴収
- 研修内容によって徴収を検討
- 受講料の金額による

◆ 会費と予算の関係

- 会費から賄ってほしい
- 会費に含むことが基本
- 会費でまかなえない経費がある場合は徴収
- 次年度の会費の予算に含む

◆ 参加しやすさの考慮

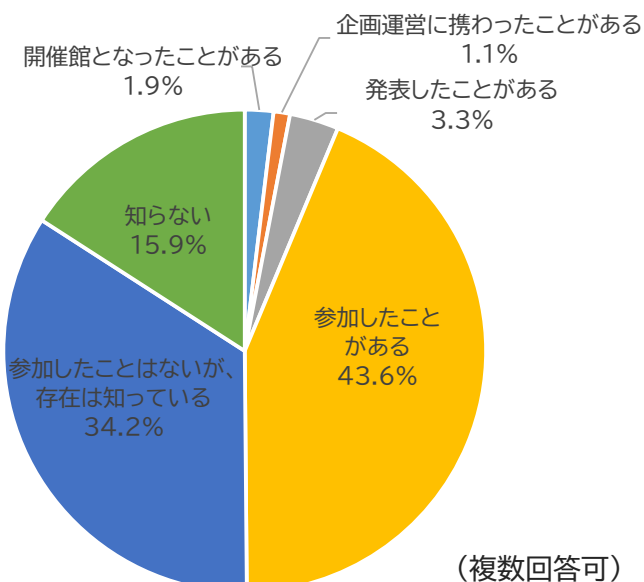
- 負担軽減を考慮した対応を求める
- 参加しやすさを考えると徴収しないのが望ましい
- 受講料がかかると参加しない方が多い
- 公費で払うかどうかの問題があるため無料だと参加しやすい

◆ その他の意見

- 施設会員は年会費で一律徴収、個人会員はその都度支払う
- 検討チームに一任
- 内容により徴収する研修としない研修に分ける
- 研修内容によっては一般参加もできる形式が良い

(図書館協会の事業について) 図書館職員等ステップアップ専門研修

図書館職員等ステップアップ専門研修



◆ オンライン研修の利点

- オンラインでの受講が可能で、距離に関係なく参加できる。
- 欲しい情報をその時に得られる。
- ZOOM形式の研修は参加しやすく、県内各館との情報共有も可能。

◆ 研修の内容と形式

- 実務に役立つ内容が求められている。
- 図書館運営に関わる内容と実務的な内容の両方があると良い。
- 経験年数や業務に応じた研修の開催が望ましい。
- ステップアップ研修の対象者を明確にする必要がある。

◆ 研修のタイミングと場所

- 学校図書館司書向けの研修は、夏休みや土日祝日に実施してほしい。
- 遠隔地での研修会場は参加しづらい場合がある。
- 地元でもステップアップ研修を受講できる機会を設けてほしい。

◆ 新任者向けのサポート

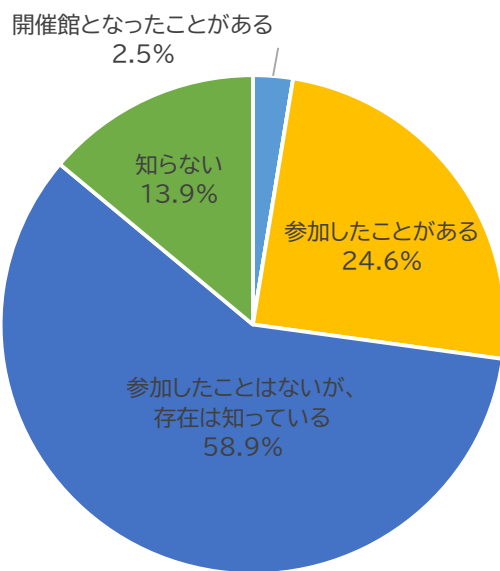
- 新任者向けの基本的な研修が必要。
- 就任直後の不安を軽減するための研修がありがたい。

◆ その他の要望

- 図書館の専門家の話を聴ける機会を増やしてほしい。
- 文献の調べ方の研修が参考になった。
- 研修に参加していない図書館には館長に積極的に働きかけてほしい。
- 参加する時間が取れない場合があるため、柔軟な対応が求められる。

(図書館協会の事業について) 読み聞かせ講座

読み聞かせ講座



項目	件数
開催館となったことがある	9
企画運営に携わったことがある	0
発表したことがある	0
参加したことがある	87
参加したことはないが、存在は知っている	208
知らない	49
合計	353

◆ 講習会の評価

- 良いと思います。
- 大変参考になりましたが、同じ講師の先生が多いので何度も参加はしなくてもよい。
- 機会があれば何度でも参加したいです。ありがとうございました。
- こちらも勉強になりました。

◆ 参加の難しさ

- 時間・開催地など都合が合わないことが多い。
- 遠方の場合、参加しづらい。(勤務時間や旅費が出ない等)
- 距離や時間で断念した事がありました。県内2会場などで開催してほしい。

◆ オンライン開催の希望

- 可能であればZoom等の活用をお願いしたい。
- オンラインでもいいので、幅広い講師の方の講座をお願いしたい。

◆ 講習会の内容と効果

- 本の情報や効果的な実践のしかた等学べ、その後の仕事に役立っています。
- 初めての教員にとって基本的なことが学べてありがたい講座でした。
- 現地研修なので、県内各館との情報共有や見学もでき、貴重な研鑽の場になっています。

◆ 継続と拡大の希望

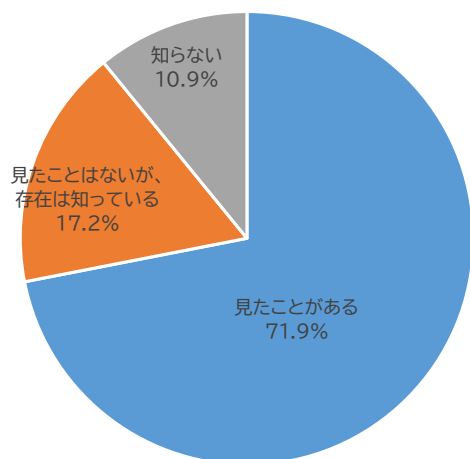
- 毎年新しい司書や司書教諭、読み聞かせボランティアの方がいるので、継続して行なうことが大切。
- 広く地域の方々・ボランティアの方々にも広げていきたい。
- 定期的にやっていただけるとありがたいです。

◆ その他の要望

- チラシのフォーマットがあると良い。
- 開催館の負担が少なく済むように、いろいろとご配慮いただきありがたかったです。
- 予算化が難しいので今後も開催してほしい。
- 対象者を明示してあると参加しやすい。
- 教職員対象の出張読み聞かせ講座をお願いしたい。(幼稚園、保育園も含めて)
- 関心のない保護者に向けて絵本に関心に向けてもらえるか、赤ちゃん向けの絵本講座などもお願いしたい。

(図書館協会の事業について) 長野県図書館協会のホームページについて

長野県図書館協会のホームページについて



項目	件数
見たことがある	251
見たことはないが、存在は知っている	60
知らない	38
総計	349

◆ サイトの使いやすさとデザイン

- 見やすいです。
- 分かりやすいレイアウトだと思います。
- シンプルすぎて、逆にわかりにくいと思います。
- もう少し整理されているとよい。

◆ 情報の整理と更新

- 最新の情報をわかりやすく整理してほしい。
- 県の読書感想文コンクール課題図書一覧のデータを早くアップしてほしい。
- 読書感想文課題図書一覧の早期掲載。

◆ アーカイブと資料

- 過去のドキュメントが体系的にアーカイブ化されていないので、改善していただきたいです。
- 研修アーカイブやパスファインダーを参照できるのがありがたい。
- これまでの取組、研修資料等参考になる記事を多く載せていただいており、もっと活用できればと思う。
- 研修後の動画を張り付けていただいたり、復習ができるのでありがたいです。

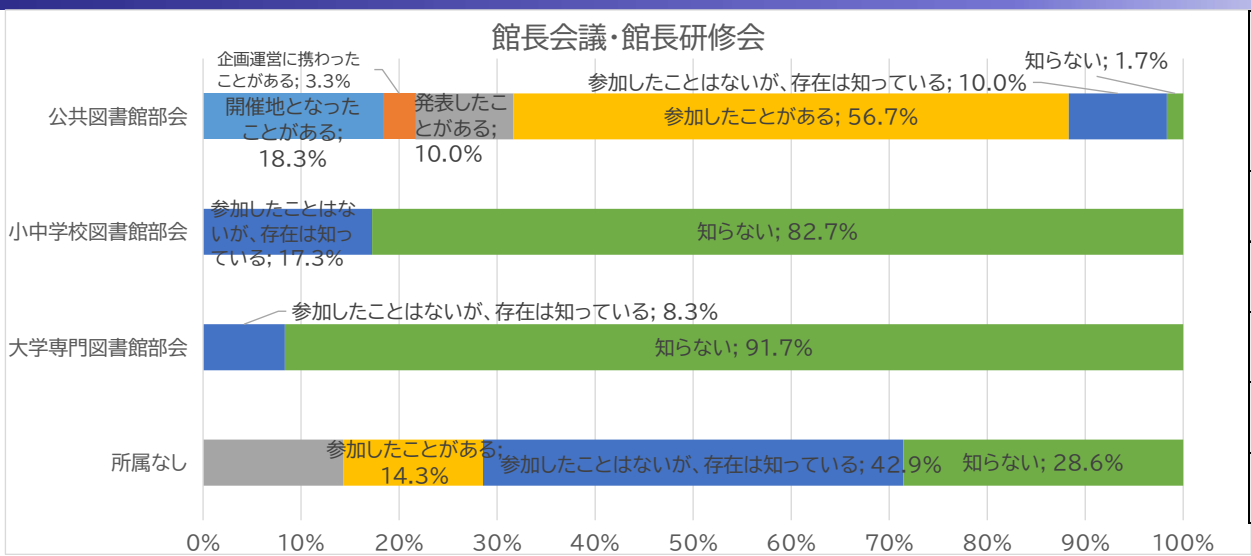
◆ 利便性と機能

- パスファインダーのページをもう少しわかりやすくしていただけると、活用しやすいです。
- 感想文などについて質問するフォームがあるとたすかります。
- 推薦図書で何回か検索をかけたことがあります。内容・書評がとてもありがたいです。

◆ その他の意見

- 古い。旧式なサイトのため使いづらい。
- 長野県は県立図書館の建物が古くて狭いので、せめてHPでそれを補ってほしい。
- 知らない人が多いので、広報をしたらよいのでは。
- 今後注目していきたいと思います。

(公共図書館部会の事業について) 館長会議・館長研修会

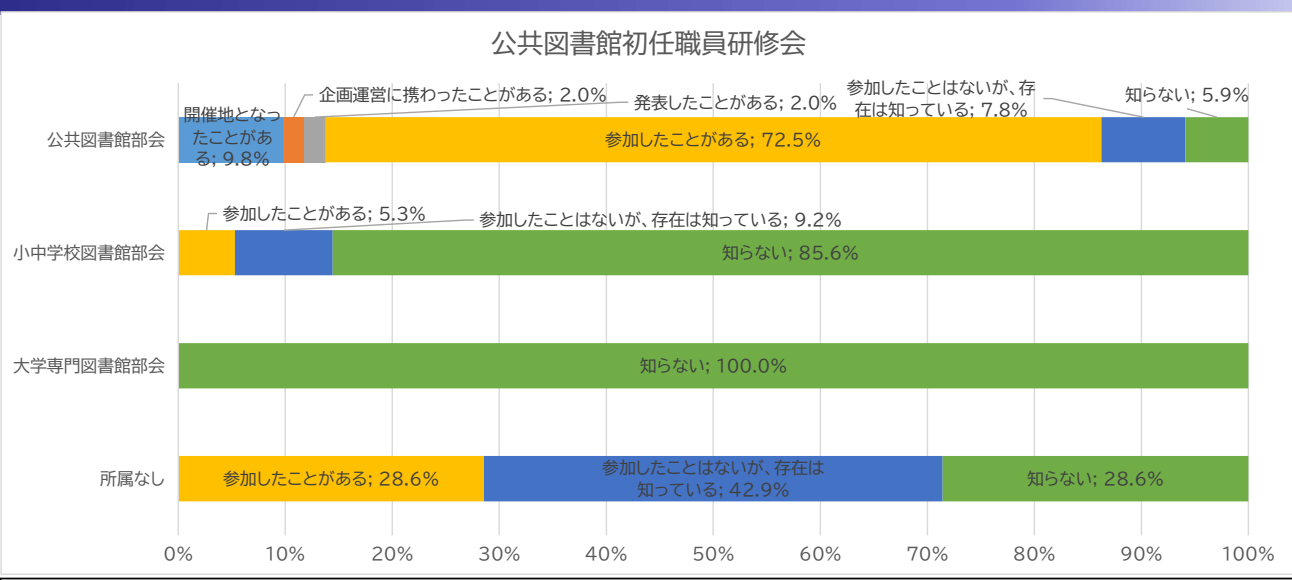


項目	開催館となったことがある	企画運営に携わったことがある	発表したことがある	参加したことがある	参加したことはないが、存在は知っている	知らない	合計
公共図書館部会	11	2	6	34	6	1	60
小中学校図書館部会	0	0	0	0	49	235	284
大学専門図書館部会	0	0	0	0	1	11	12
所属なし	0	0	1	1	3	2	7
総計	11	2	7	35	59	249	363

(複数回答可)

- 年に2回、情報共有できる貴重な機会。春は持ち回りで会場館は大変だと思うが、いろいろな図書館を訪問できるチャンスなので、継続していただきたい。
- 長野県図書館協会の総会で決まったことを館長会議に下ろして意思の統一をはかっていく必要があるのではないか。そのためには、総会のありかた、館長会議の開催時期等、工夫が必要。
- これからも可能な限り会議や研修会はオンラインでの開催をお願いしたいです。
- 県内の他市町村の状況を知ることができ、有意義な研修だと思う。
- 情報交換等、大変役に立っている。
- 館長が他館の運営や取組について学んだり、情報交換、交流ができる貴重な機会
- 当市においては、館長が公募の場合もあるため、このような全体研修や情報共有は貴重であり、よいと思う。
- 館長以外でも、受講できる場合があり、ありがたいです。
- 研修会はとても参考になることがたくさんありました。リモート参加はありがたいです。

(公共図書館部会の事業について) **公共図書館初任職員研修会**



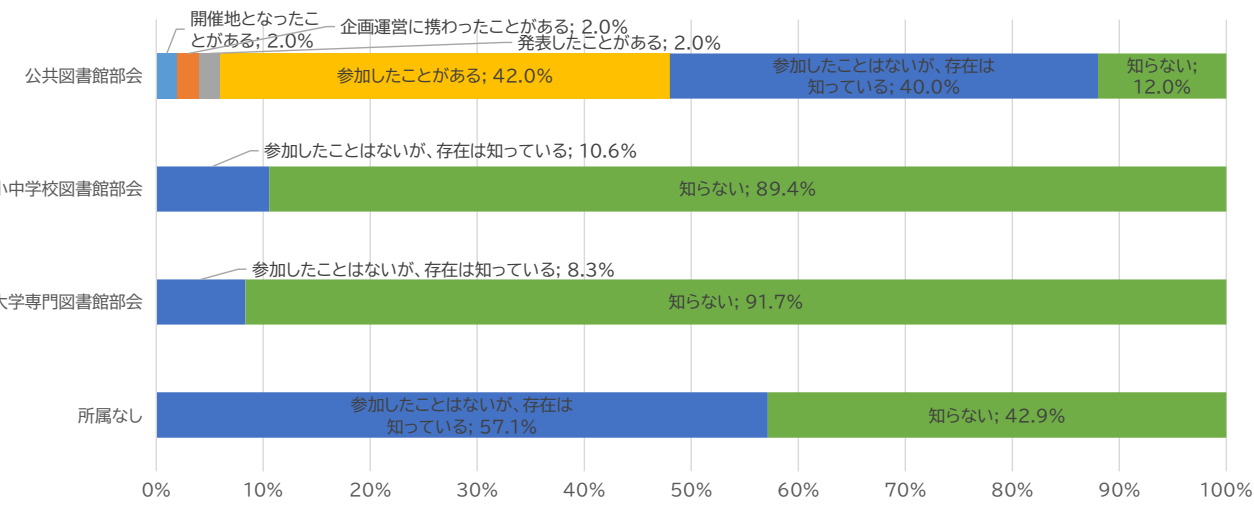
	開催館 となった ことがある	企画運 営に携 わったこ とがある	発表し たこと がある	参加し たこと がある	参加し たこと はない が、存 在は知 っている	知ら ない	合計
所属なし	0	0	0	2	3	2	7
大学専門図 書館部会	0	0	0	0	0	12	12
小中学校図 書館部会	0	0	0	15	26	243	284
公共図書館 部会	5	1	1	37	4	3	51
合計	5	1	1	54	33	260	354

(複数回答可)

- 動画による配信となり、初任者以外も受講できるようになったのは良かった。一方で、人的ネットワークを作る機会にはなっていないので、工夫が必要ではないでしょうか。
- 研修会の内容は、過去とは比べものにならないほど充実している。県立長野図書館職員の方々のご尽力に感謝しています。このような研修は自館のみでは難しいので、ぜひこれからも継続して行ってほしいです。
- 同じ立場の人と情報共有ができたり、「わからないこと」がわかったりしたことがありがたかった
- レファレンスについて教えていただき大変参考になりました。
- 地区で開催していただき、会計年度職員が多数参加することができたのは、ありがたかった。
- 続けてやっていただきたい。必要な研修ですから。
- 今学校司書をするにおいて研修を受けておいてよかったと思っています。
- 毎年の初任者が参加している。図書館業務の基本をきちんと学ぶことができる機会で開催はありがたい。館内で研修を行うことが難しい館にとって必要。
- 私立図書館の初任職員も対象にしてほしいです。(着任時に先輩などもなく学ぶところもなく、しばらく我流でやってしまったことがあったため)
- ずっとやっていただけるとありがたいです。

(公共図書館部会の事業について) 中堅職員育成のための研究会「これからの公共図書館研究会」

中堅職員育成のための研究会「これからの公共図書館研究会」



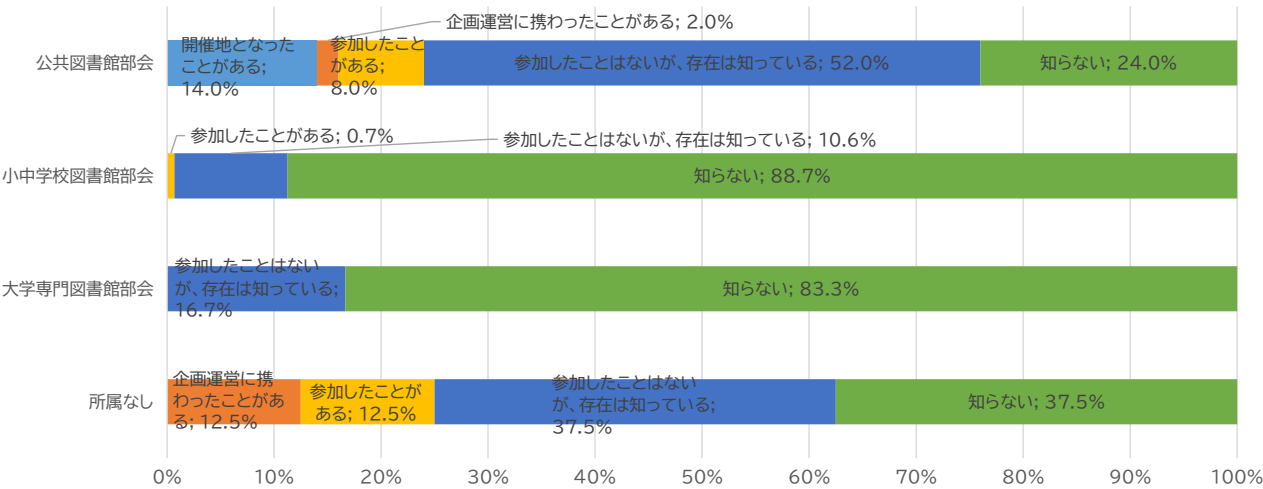
	開催地とな ったこと がある	企画運営 に携わっ たこと がある	発表した こと がある	参加した こと がある	参加した ことはな いが、存 在は知っ ている	知らな い	合計
公共図書館 部会	1	1	1	21	20	6	50
小中学校図 書館部会	0	0	0	0	30	254	284
大学専門図 書館部会	0	0	0	0	1	11	12
所属なし	0	0	0	0	4	3	7
総計	1	1	1	21	55	274	353

(複数回答可)

- 受動的ではなく、いっしょに研究をして学び合える良い機会だと思います。オンラインなので参加しやすいのも良いです。一方で、人的ネットワークを作る機会をつくるため、たまにはオフ会があっても良いのではないのでしょうか。
- 大きな図書館ではないのに「デジとしょ信州」の部会・チームにも人を出しているせいか、年間を通して煩雑な印象がある。
- 1年間参加させていただき、とても勉強になりましたが、業務との両立が難しいと感じました。
- 小規模の図書館のうえ、館長と司書を含めた職員の意識改革が必要なので、そのための働きかけてをしていただきたい。
- 実践を交えた現場の課題改善につながる研修を引き続き行ってほしい
- 一度参加させていただきました。研究会より、研修会に近い具体的に図書館サービスに役に立つ内容だとありがたいです。※著作権、役に立つ統計、避難マニュアル作成、収集方針や除籍基準の見直しについてなど、日常をバージョンアップできる研修をのぞんでいます。

(公共図書館部会の事業について) 信州横断「昭和・現代史」講座

信州横断「昭和・現代史」講座

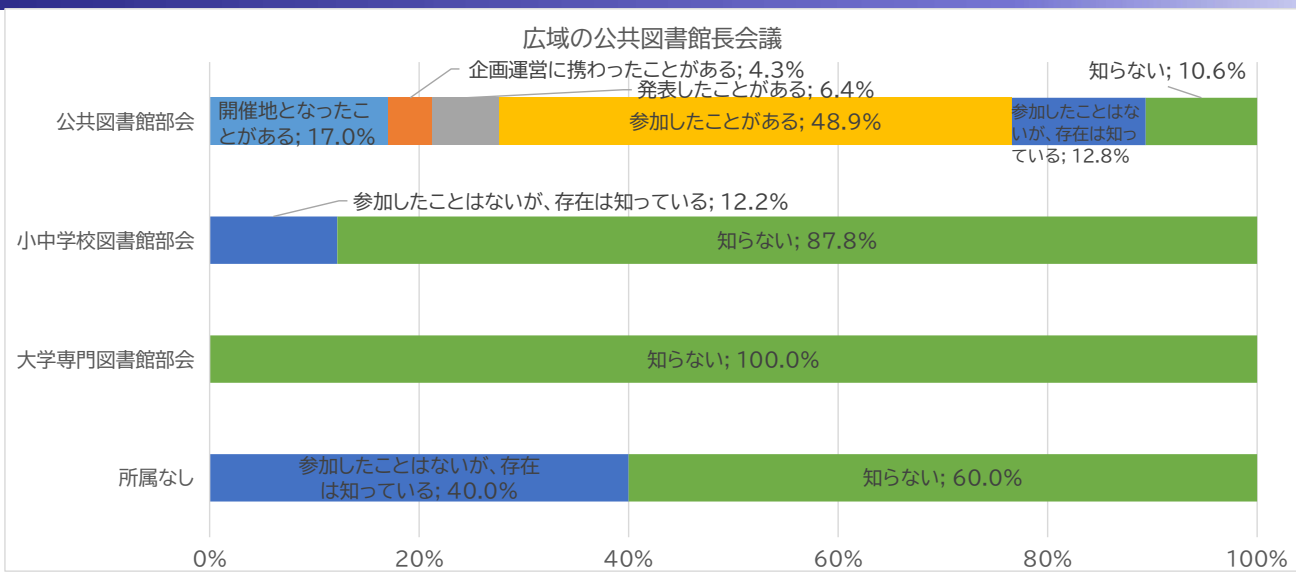


	開催地となったことがある	企画運営に携わったことがある	発表したことがある	参加したことがある	参加したことはないが、存在は知っている	知らない	合計
公共図書館部会	7	1	0	4	26	12	50
小中学校図書館部会	0	0	0	2	30	252	284
大学専門図書館部会	0	0	0	0	2	10	12
所属なし	0	1	0	1	3	3	8
総計	7	2	0	7	61	277	354

(複数回答可)

- 開催地にゆかりのテーマで非常に濃い内容。あまり意義が伝わっていないので、アーカイブを有効活用したい。
- よい企画だと考えます
- なぜこの講座を行うのか、唐突な印象を受けた。どう協議されたのか、透明性が必要と思う。図書館大会の運営費の見直しをするなかで、淘汰されていくべき。
- 参加してみたい。
- 木曽地域の掘り下げが弱い
- 学校でも出張講座をしていただけるとありがたいです。(探究で、地域の歴史をとりあげる機会があると思われるので)
- 地元に関する講座を企画していただいたので、よかったです。

(公共図書館部会の事業について) 広域の公共図書館長会議



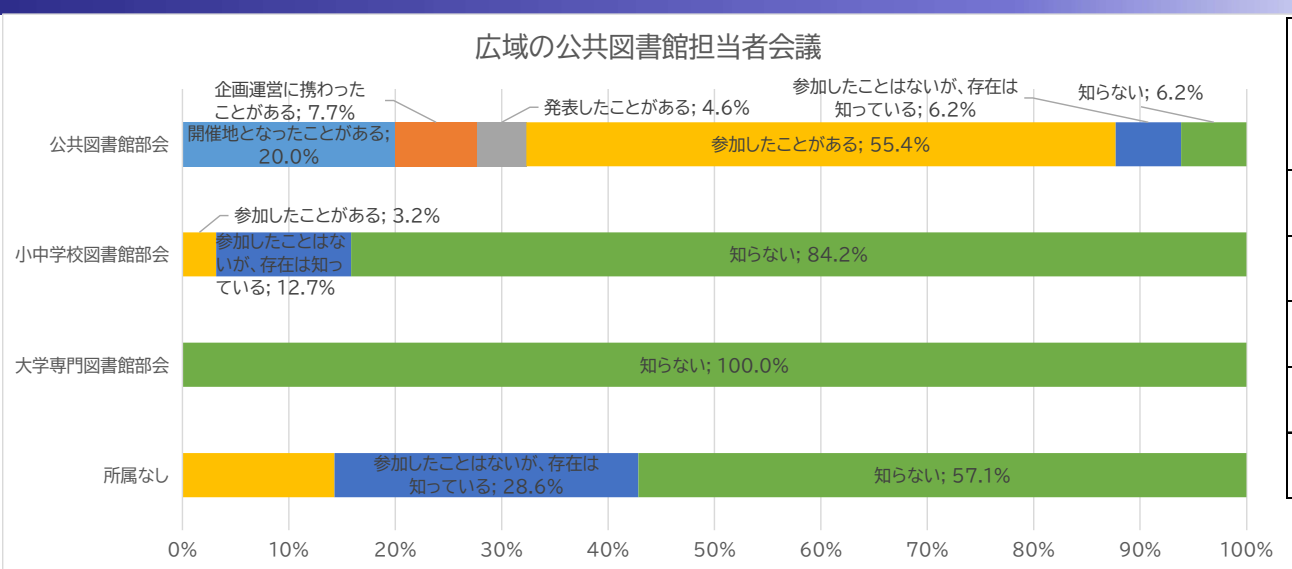
	開催地となったことがある	企画運営に携わったことがある	発表したことがある	参加したことがある	参加したことはないが、存在は知っている	知らない	合計
公共図書館部会	9	2	3	27	9	8	58
小中学校図書館部会	0	0	0	0	35	249	284
大学専門図書館部会	0	0	0	0	0	12	12
所属なし	0	0	0	0	2	5	7
総計	9	2	3	27	46	274	361

(複数回答可)

- ※ 広域の公共図書館長会議 実施地区割
- 佐久広域(東信(佐久支部))、南佐久郡内
 - 上田地域図書館情報ネットワーク(上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町)の構成図書館長
 - 諏訪6市町村
 - 上伊那支部内市町村
 - 飯田下伊那支部内市町村
 - 松本広域、大北地域市町村、中信地区市町村
 - 北信公共図書館連絡協議会(北信の12館(含県立))

- ※ 広域の公共図書館長会議 主な意見等
- 地域で顔の見える関係性が作られており、とても有効だと思います。開催されている地域とされていない地域があるので、無理がない範囲で開催されたら良いと思います。
 - 各図書館の特色や工夫などの意見交換ができて有意義な会議でした。
 - 場所的に大変遠い公共図書館に集まるときは、往復だけで6時間もかかってしまうことがあり、時間内に帰ってこれないため、中心的な地域の場合は集まるのも良いが、遠い地域はオンライン開催で是非お願いしたい。
 - 傍聴できれば、参加したい。
 - 公共図書館は、サービスの範囲が広いため、様々なテーマでの研修が必要。

(公共図書館部会の事業について) 広域の公共図書館担当者会議



	開催地となったことがある	企画運営に携わったことがある	発表したことがある	参加したことがある	参加したことはないが、存在は知っている	知らない	合計
公共図書館部会	13	5	3	36	4	4	65
小中学校図書館部会	0	0	0	9	36	239	284
大学専門図書館部会	0	0	0	0	0	12	12
所属なし	0	0	0	1	2	4	7
総計	13	5	3	46	42	259	368

(複数回答可)

※ 広域の公共図書館担当者会議 実施地区割

- 佐久広域(東信(佐久支部))、南佐久郡内
- 上田地域図書館情報ネットワーク(上田市、東御市、長和町、青木村、坂城町)の構成図書館実務担当者、上田地域広域連合の担当者、図書館システムの保守管理業者
- 諏訪6市町村(他職員が参加)
- 上伊那支部内市町村
- 飯田下伊那支部内市町村(南信州図書館ネットワーク加入館)
- 松本広域、大北地域市町村(年1回)、中信地区市町村(年2回)(中信地区:近年より、公民館図書室担当者も参加している)
- 北信地域(北信の12館で、秋に実務者の研修・交流を行っている。)

※ 広域の公共図書館担当者会議 主な意見等

- 地域で顔の見える関係性が作られており、とても有効だと思います。開催されている地域とされていない地域があるので、無理がない範囲で開催されたら良いと思います。
- 情報交換ができる良い機会だと考えます
- 北信公共図書館連絡協議会と呼んできたが、これも、公共図書館部会の事業のうちなのだとあらためて気づいた。日ごろからのすりこみ、意識改革が必要。
- 市町村立図書館、公民館図書室の職員が集まって協議できる場であり、ありがたいです。県立図書館から参加していただけることもありがたいです。
- 場所的に大変遠い公共図書館に集まるときは、往復だけで6時間もかかってしまうことがあり、時間内に帰ってこれないため、中心的な地域の場合は集まるのも良いが、遠い地域はオンライン開催で是非お願いしたい。(館長会議と同じで)
- 傍聴できれば、参加したい。
- 年に2回行っているが、そのうち1回は会議を行い、もう1回は研修会などにしてはどうでしょうか?と思っています。
- 近場の図書館担当職委員の課題、情報共有の場なので今後も実施してほしい

(公共図書館部会の事業について) 広域独自の事業

※ 広域独自の事業 実施状況(公共図書館部会)

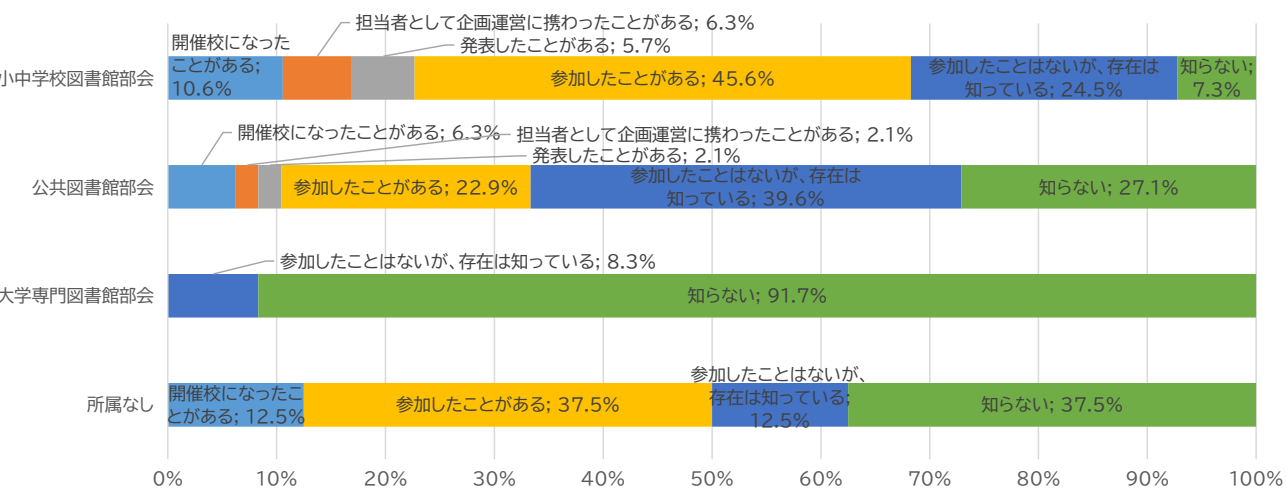
	佐久	上小	諏訪	上伊那	下伊那	木曽	塩筑	松本	安曇野	大北	更埴	長水	須高	中飯
研修	○	○	○	○	○		○			○		○	○	○
システム調達・運営		○	○	○	○									
その他			○			○	○			○				

※ 広域独自の事業 主な意見等

- ・ 以前は須高支部内市町村で研修会を開催していたが、コロナ禍以降は行っていない。(須高)
- ・ 同じシステムを使用しているので、講習会などがあるとありがたいです。(上伊那)
- ・ 研修は支部内市町村。システムは支部内の市町村の中で南信州図書館ネットワークに参加している市町村(下伊那)
- ・ 大北地域市町村の公共図書館職員、学校図書館職員合同の研修会(大北)
- ・ 大町市と北安曇郡の巡回車・窓口職員担当者会議(大北)
- ・ 新聞のデジタル版の年間共同購入契約(木曽)
- ・ 地域内職員交流(交換)(諏訪)
- ・ 図書館システムのネットワーク会議(諏訪)
- ・ 大桑村図書館システム共同利用(塩筑)

(小中学校図書館部会の事業について) **地区（東・北・中・南信）学校図書館研究大会**

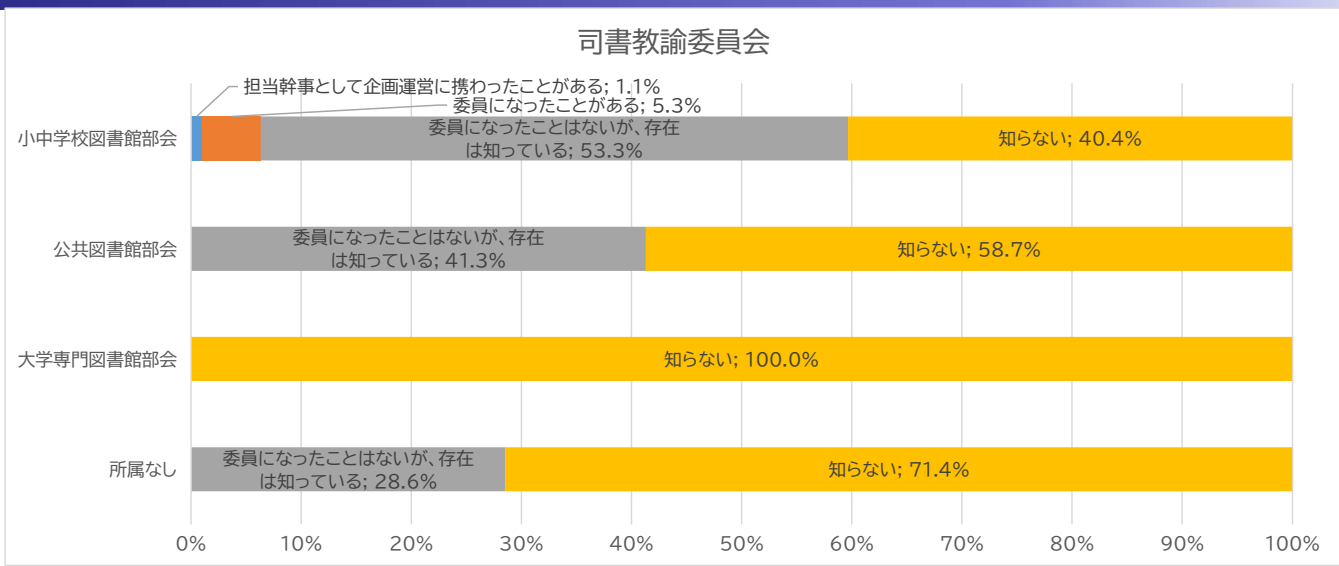
地区（東信・北信・中信・南信）学校図書館研究大会



(複数回答可)

- ◆ **研究大会の負担と参加の課題**
 - ・開催校の負担が大きく、準備が大変。
 - ・他の地区からの参加者が減少している。交通面の課題があり、参加しづらい状況。
 - ・リモートやサテライト会場の設置を希望する声がある。
 - ・図書館大会と同様で、回数を減らすか、学校の教研集会等の一部として行えないか。
- ◆ **交流と情報交換の重要性**
 - ・各地区の独自性が感じられ、参加者にとって勉強になる。
 - ・県内の小中高校と交流できる貴重な機会。
 - ・学校司書の分科会を設けて、情報交換を希望する意見がある。
- ◆ **教員と学校司書の参加状況**
 - ・教員の参加が少なく、学校司書のみの参加が多い。教員の参加がないと、授業提供の成果が他校で実践されない。
 - ・教員の働き方改革や教育課程の影響で、参加が難しい状況。
- ◆ **図書館の役割と授業の見直し**
 - ・紙の本だけでなく、デジタル情報も扱う必要がある。
 - ・図書館の役割が「情報センター」に移行していくのではないか。
 - ・授業提供という研究会のあり方を見直すべきではないか。

(小中学校図書館部会の事業について) **司書教諭委員会**

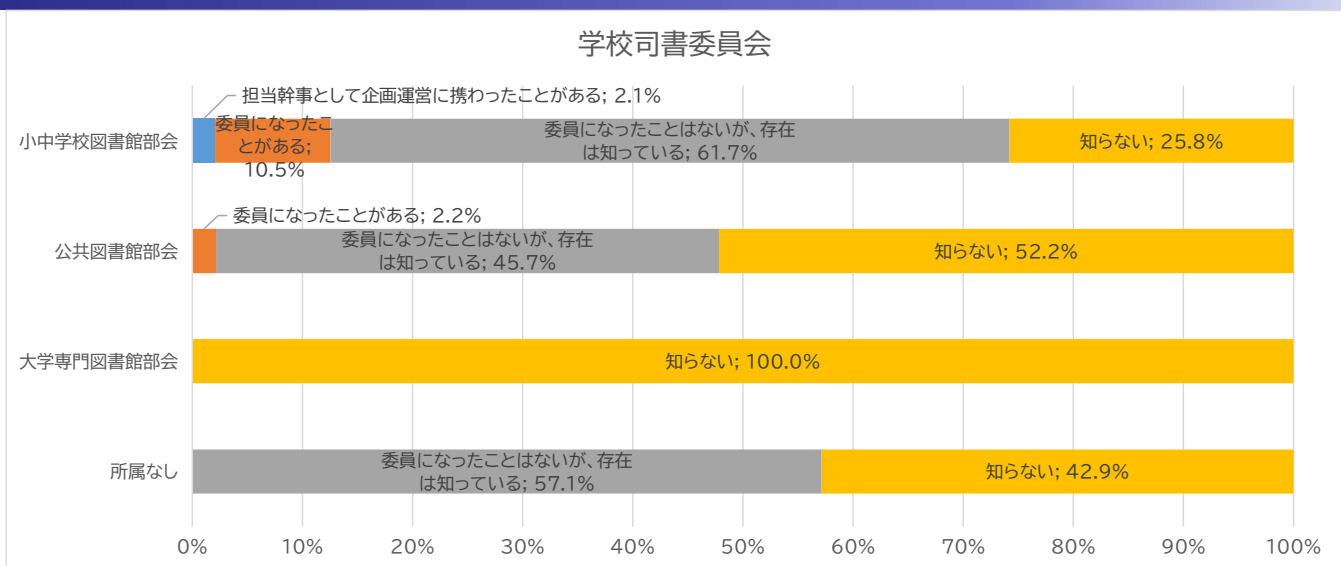


	担当幹事として企画運営に携わったことがある	委員になったことがある	委員になったことはないが、存在は知っている	知らない	総計
小中学校図書館部会	3	15	152	115	285
公共図書館部会	0	0	19	27	46
大学専門図書館部会	0	0	0	12	12
所属なし	0	0	2	5	7
総計	3	15	173	159	350

(複数回答可)

- 司書教諭の役割の重要性が伝わっていく工夫が有難い。
- 以前この会で開催された「著作権について」の講座が共有できてとてもありがたかったです。
- 司書教諭と司書や図書館担当者の連携の在り方について 司書教諭がどの学校でも発令されているわけでもないので、司書や担当者などがカバーしているところが多く負担になっている現実です。また、司書教諭がいても実際にはクラス担任だったり、別の係になったりしてなかなか活動ができないようです。
- 司書教諭が発令されていない学校へも情報発信をしてほしいです。例えば、図書館年間計画の作成の参考資料や具体的な活動や情報の発信など
- 発令は受けたが何をしたらよいかわからないという司書教諭が現場で大勢見受けられる。(どうして資格をもっているのか謎。)最初の手引きを作った時代と教育現場の状況が変わり、子どもたちの読み方や調べ学習形態も大きく変化している。司書教諭としての役割を明確に示し、発令が形だけにならず司書と司書教諭の連携により図書館教育の充実が図られるよう発信し、県下の司書教諭のリーダー的位置づけの役割を果たしていけるとよい。

(小中学校図書館部会の事業について) **学校司書委員会**

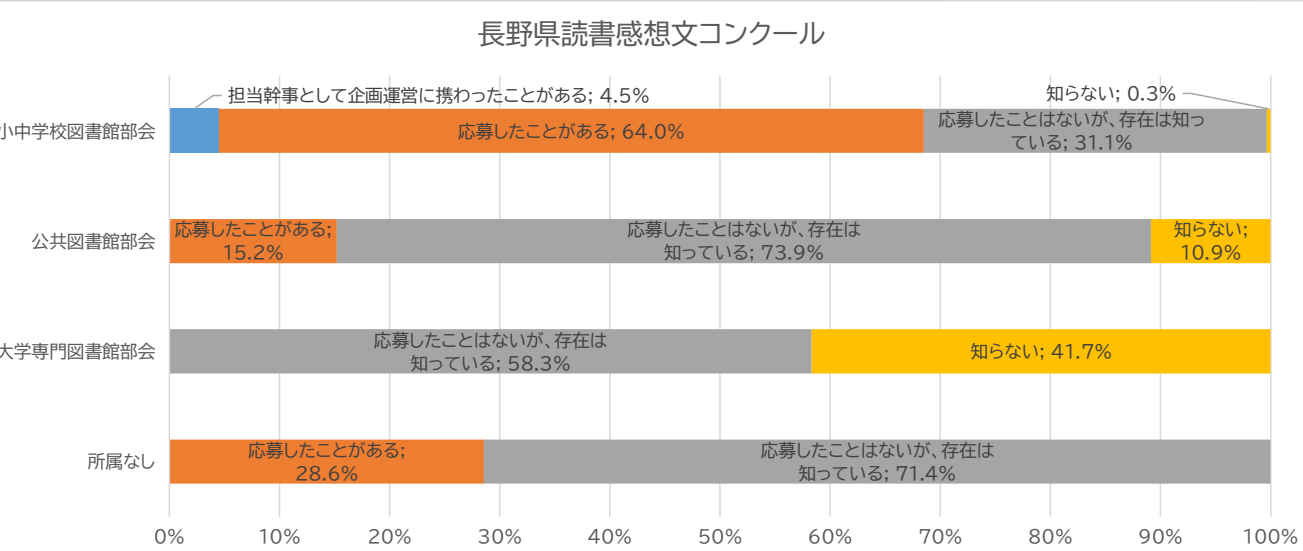


	担当幹事として企画運営に携わったことがある	委員になったことがある	委員になったことはないが、存在は知っている	知らない	総計
小中学校図書館部会	6	30	177	74	287
公共図書館部会	0	1	21	24	46
大学専門図書館部会	0	0	0	12	12
所属なし	0	0	4	3	7
総計	6	31	202	113	352

(複数回答可)

- ・ 実務マニュアル改訂版の作成とその活用についてホームページにも掲載していただき助かっています。
- ・ 学校司書ですが、はじめて聞きました。多くの司書がかかわることができると委員会として存在する意義がでるかな…と思います。
- ・ 学校図書館実務マニュアル(改訂版も)がとても役にたっています。・初心者向けや中堅者向けの実務に関する研修講座があればいいなあと思います。
- ・ 疑問や質問が気楽にできるとありがたいです。
- ・ 上小東御図書館協会主催の研修会(年2回)なら出席している。
- ・ 長野県の各地区の司書の皆さんと交流が出来るので、とても勉強になり、いい機会だと思います。
- ・ 県内の司書と交流ができ、勉強にはなるが、負担が大きいので委員の選出など改善してほしい。
- ・ 各地区からの代表の先生方との情報交換ができたため、とても有意義な時間となりました。近隣市町村の対応だけでなく、ほかの地区での対応や実践例など気軽に話を聞くことができ、とても参考になりました。
- ・ 拘束時間が長く、会場も遠いので苦労した記憶があります。

(小中学校図書館部会の事業について) **長野県読書感想文コンクール**

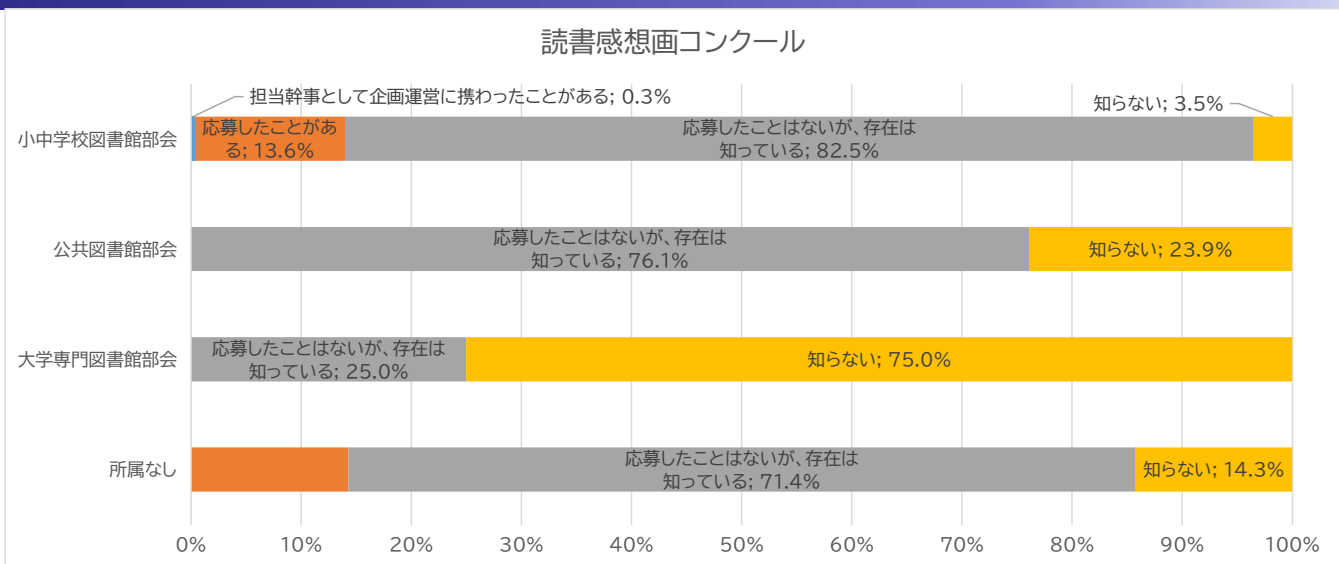


	担当幹事として企画運営に携わったことがある	応募したことがある	応募したことはないが、存在は知っている	知らない	総計
小中学校図書館部会	13	185	90	1	289
公共図書館部会	0	7	34	5	46
大学専門図書館部会	0	0	7	5	12
所属なし	0	2	5	0	7
総計	13	194	136	11	354

(複数回答可)

- ◆ 課題図書と読書感想文の現状
 - ・課題図書の選書が良くない、対象年齢に合っていない、内容が薄いと感じる。
 - ・課題図書が興味深い本が多く、子どもたちがよく読む。
- ◆ 読書感想文の負担と参加状況
 - ・読書感想文を書く時間が取れず、参加者が減少。
 - ・課題が多く、読書感想文を書くのが負担。書く分量が多く、参加者を募るのが大変。
- ◆ 改善提案と期待
 - ・応募票をネットで入力できるようにすると応募者が増える。負担のかからない応募方法(WEBから直接)を検討。個人応募の形にするとありがたい。
- ◆ 読書感想文コンクールの意義と存続
 - ・本や文章を書くのが好きな子の能力を評価する場として存続希望。
 - ・夏休みの選択課題として楽しみにしている児童が多いので継続希望。新聞の紙面に結果が紹介されると続けてほしい。
- ◆ その他の意見
 - ・感想文の審査基準が不明確で、地区から県への審査でねじれがある。
 - ・国語の授業で長文を書くことがなく、読書感想文コンクールは役割を終えていると感じる。
 - ・課題図書の発表から夏休みまでの時間が短く、事前指導の時間が取れない。春休みの課題にする方法を模索。
 - ・募集要項など詳しい内容を、HPに載せてほしいです。

(小中学校図書館部会の事業について) **読書感想画コンクール**



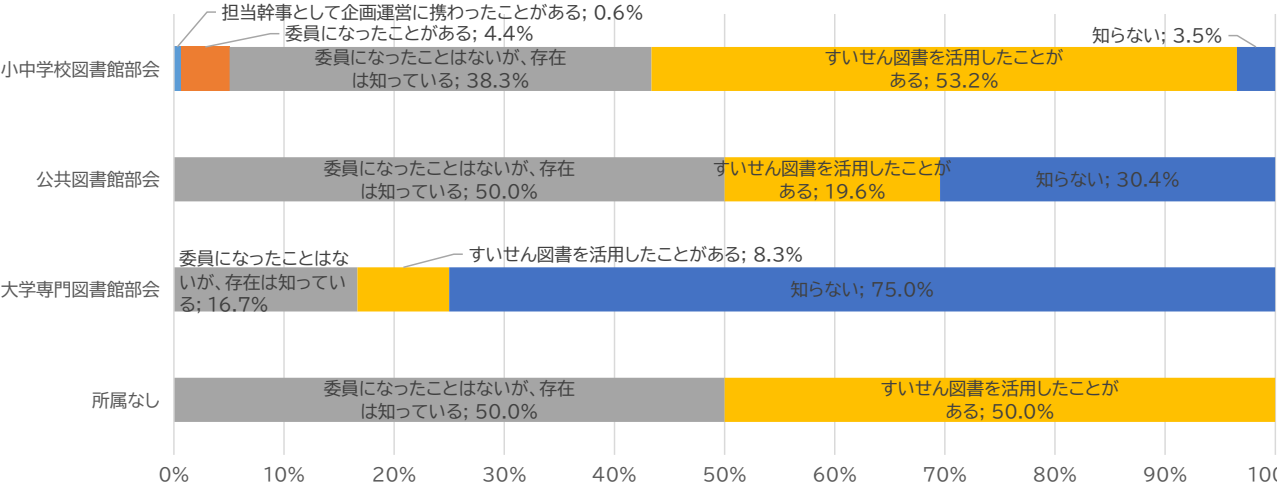
	担当幹事として企画運営に携わったことがある	応募したことがある	応募したことはないが、存在は知っている	知らない	総計
小中学校図書館部会	1	39	236	10	286
公共図書館部会	0	0	35	11	46
大学専門図書館部会	0	0	3	9	12
所属なし	0	1	5	1	7
総計	1	40	279	31	351

(複数回答可)

- 課題図書の選書がよく、イメージを膨らませて絵を描くことができた。
- ポスターを張るくらい。コンクールが多すぎて先生には勧めにくい
- 告知はするが、応募は学級担任が行っている。
- 認知度が低いです。
- 感想文コンクールで手いっぱい児童も取り組みにくい。
- 絵画の力量を必要とするものであり、読書との関連は薄いと考えます。

(小中学校図書館部会の事業について) すいせん図書（推薦課題図書選定委員会）

すいせん図書(推薦課題図書選定委員会)

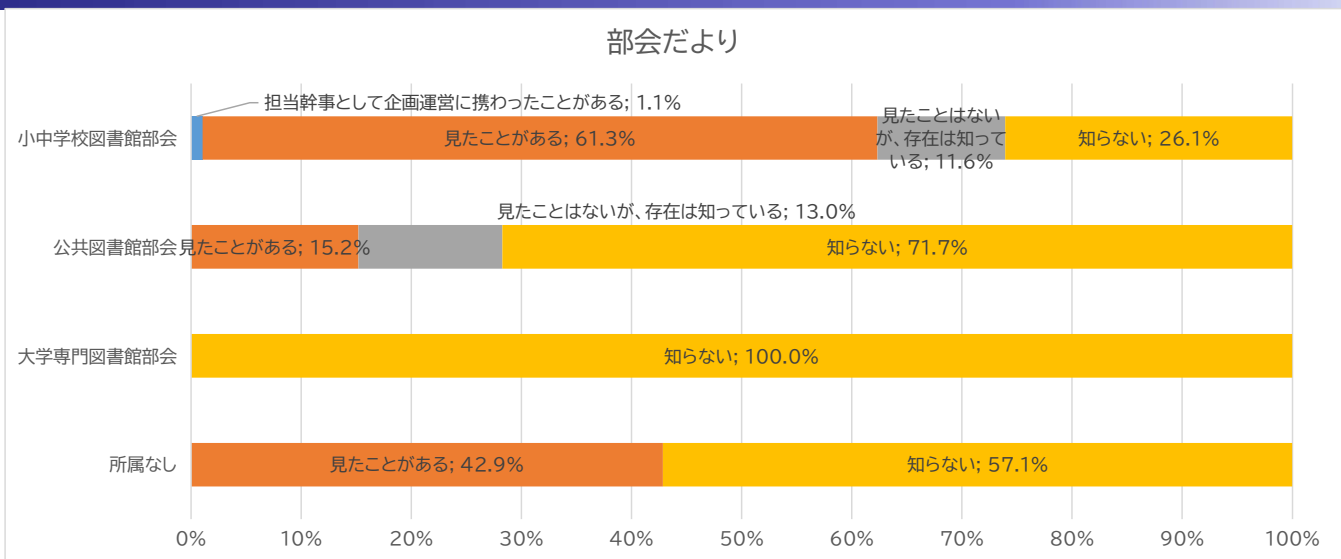


	担当幹事として企画運営に携わったことがある	委員になったことがある	委員になったことはないが、存在は知っている	すいせん図書を活用したことがある	知らない	総計
小中学校図書館部会	2	14	121	168	11	316
公共図書館部会	0	0	23	9	14	46
大学専門図書館部会	0	0	2	1	9	12
所属なし	0	0	4	4	0	8
総計	2	14	150	182	34	382

(複数回答可)

- ・ 選書の参考にさせていただいています。ありがとうございます。
- ・ 図書購入の際、参考にさせていただいています。
- ・ 学校図書館に購入する図書の参考にしているので、続けてほしいです。
- ・ たくさんの本を読んで選書するのは大変だが、いろいろな本に触れることができ、楽しい。
- ・ 勤務校の司書教諭が委員だったときに一緒に読みました。送られてくる本おなかからなので偏りはあると思います。一覧については選書の参考にしています。
- ・ 毎年すいせん図書の中からいくつかを購入させていただいています。とても参考になります。
- ・ 選書する際とても参考にしています。大変でしょうが続けていただけるとありがたいです。
- ・ 今後も情報発信をお願いしたい。
- ・ 良い本をたくさん知られて、購入の参考にしており有難いです。
- ・ 出版されているものを網羅しているわけではないため、広範囲に公正なものではありませんが、子どもたちが本を手にする機会を作るものとして、継続していきたいです。
- ・ 9類文学の選書が多いと感じている。教科書掲載図書「この本、読もう!」「本の世界を広げよう!」や、全国の課題図書も9類が多いので、0～8類の本も推薦していただけるとありがたく思う。

(小中学校図書館部会の事業について) **部会だより**



	担当幹事として企画運営に携わったことがある	見たことがある	見たことはないが、存在は知っている	知らない	総計
小中学校図書館部会	3	174	33	74	284
公共図書館部会	0	7	6	33	46
大学専門図書館部会	0	0	0	12	12
所属なし	0	3	0	4	7
総計	3	184	39	123	349

(複数回答可)

- 詳しく読んでいない
- 部会にはいっている人が知らないことがないようにしてほしい。
- ICTの急速な発達に伴い本離れが進んでいるように感じる。子どもたちが本好きになるために子どもたちを本好きにするためにどうしたらよいか考え合えるようなよりよい研修の機会をこれからも設けていただくようお願いしたい。
- いつも詳しくまとめていただきありがとうございます。

(小中学校図書館部会の事業について) **小中学校図書館部会に期待すること、課題など** (まとめ)

◆ 現場の状況と要望

- ・非正規雇用の女性が多く、自立した生活が難しい収入の中で働いている。
- ・〇〇市の司書は出張が認められておらず、会議等への参加が難しい。
- ・〇〇市の学校司書は市外の研修・会議参加が勤務とみなされず、自費で参加している。

◆ 研修・交流の重要性

- ・県単位での交流や研修が有益。
- ・研修内容の充実を求める声が多い。実践的な内容や現場のニーズに基づいた内容を希望。
- ・専門的知識・技術の向上のための研修の充実を希望。

◆ 図書館運営と情報発信

- ・他校の取り組みや今どきの図書館の在り方についての情報発信を希望。
- ・最新の情報を発信し、魅力ある図書館運営を目指す。
- ・特別支援学校の図書館の現状や取り組みについての情報発信を希望。

◆ 図書館の役割と機能

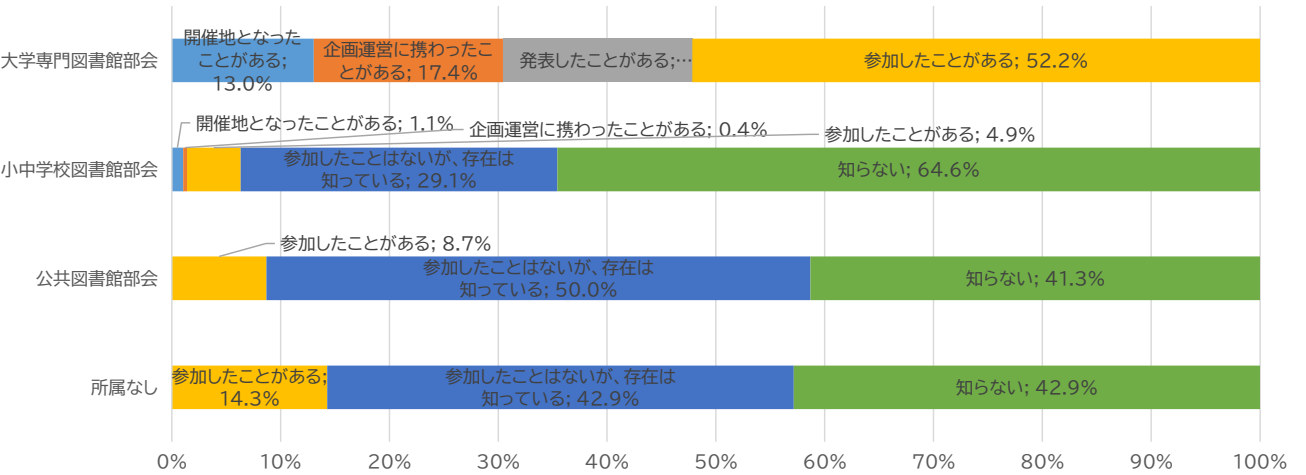
- ・図書館が作品を収蔵する場所だけでなく、各種情報が手に入る場所としての機能を高める必要がある。
- ・課題図書の貸し借りができるようになるとありがたい。
- ・公共図書館と学校図書館の連携体制の統一を希望。

◆ その他の要望

- ・1校に一人の図書館司書の配置を希望。
- ・実務マニュアルが分かりやすく助かっている。
- ・読書活動推進につながる情報交換を希望。

(大学専門図書館部会の事業について) **長野県図書館大会 大学専門図書館部会分科会**

長野県図書館大会 大学専門図書館部会分科会

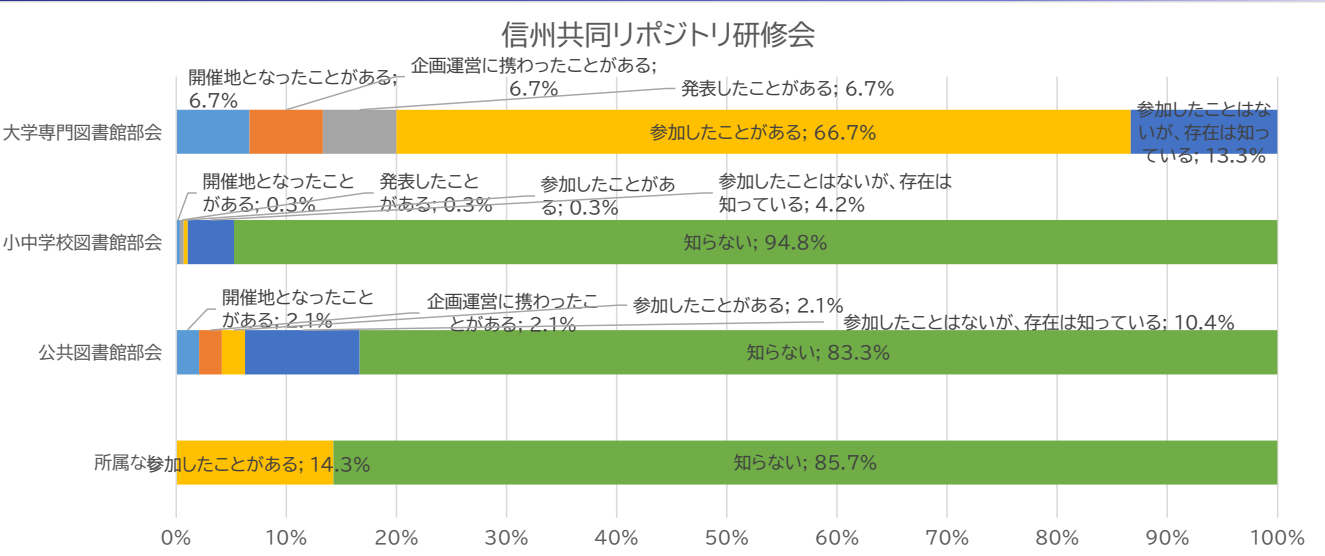


	開催地とな ったこと がある	企画運営に 携わったこ とがある	発表したこ とがある	参加したこ とがある	参加したこ とはない が、存在は 知っている	知らない	合計
大学専門図 書館部会	3	4	4	12	0	0	23
小中学校図 書館部会	3	1	0	14	83	184	285
公共図書館 部会	0	0	0	4	23	19	46
所属なし	0	0	0	1	3	3	7
総計	6	5	4	31	109	206	361

(複数回答可)

- 以前に発表館を担当させていただいた際は、少ない職員で運営している当館には負担が大きく、日常業務に支障が出たため、少人数運営の館でも担当しやすくなるような体制になることを望みます。

(大学専門図書館部会の事業について) 信州共同リポジトリ研修会

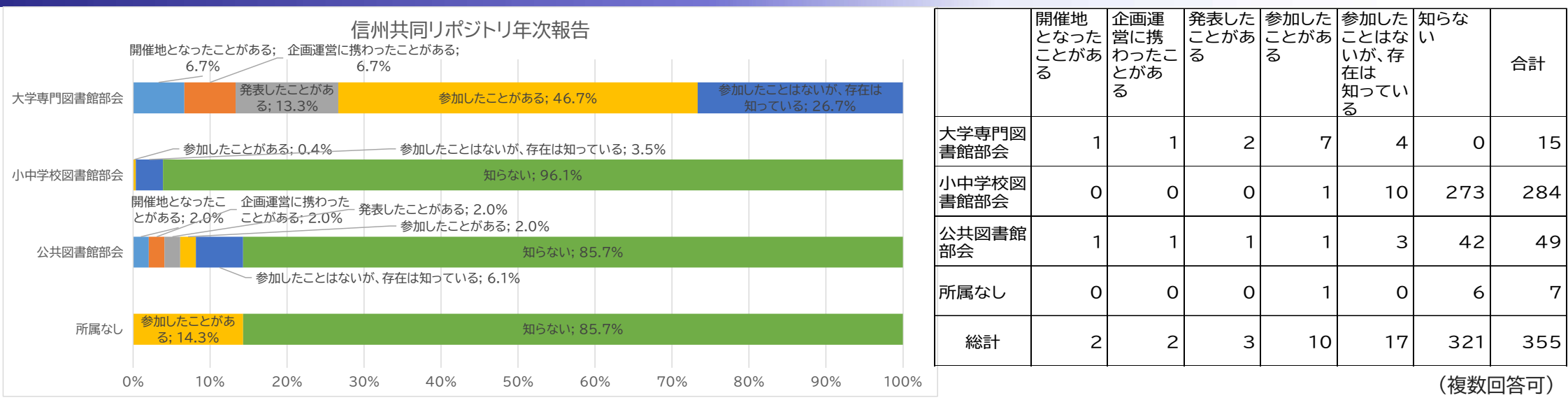


	開催地 となった ことがあ る	企画運 営に携 わったこ とがあ る	発表した ことがあ る	参加した ことがあ る	参加した ことはな いが、存 在は知 っている	知らな い	合計
大学専門図 書館部会	1	1	1	10	2	0	15
小中学校図 書館部会	1	0	1	1	12	271	286
公共図書館 部会	1	1	0	1	5	40	48
所属なし	0	0	0	1	0	6	7
総計	3	2	2	13	19	317	356

(複数回答可)

- リポジトリについて教えていただくことができ、大変助かっています。

(大学専門図書館部会の事業について) 信州共同リポジトリ年次報告



• (なし)

(大学専門図書館部会の事業について) **大学専門図書館部会に期待すること、課題など** (自由記載：元データ 1/1)

- いろいろな課題への対応や交流
- 具体的な活動としては年1回の分科会が中心ではありますが、連携の枠組みとして存在していること自体に一定の意義があると考えています。
- 大学生が小学校図書館の読み聞かせにきてもらえたらいいです。

アンケート結果から見えてきた図書館協会の改善ポイント

1. 組織運営と体制の改善

- 理事会の透明性向上: 理事会の内容を会員にわかりやすく公開し、会員の意見を反映する仕組みを整備。
- 運営体制のスリム化: 理事や副会長の人数を減らし、効率的な運営を目指す。
- 情報共有の強化: 部会や支部間の情報共有を促進し、オンライン会議の導入を検討。

2. 認知度と存在感の向上

- 広報活動の強化: 図書館協会の存在感を高めるため、広報活動を積極的に行う。
- 会議録の公開: 理事会や総会の会議録を公開し、透明性を確保。

3. 研修とイベントの充実

- オンライン研修の拡充: オンライン研修やアーカイブ研修を増やし、参加しやすい環境を整備。
- 多様な研修プログラム: 現場のニーズに応じた実践的な研修を提供。

4. 会員の意見反映と参加促進

- 意見収集の仕組み: 会員の意見を積極的に収集し、運営に反映する仕組みを構築。
- 参加しやすい環境づくり: 遠方からの参加者のためにオンライン参加やサテライト会場の設置を検討。

5. 図書館大会の改善

- 開催頻度の見直し: 図書館大会の開催頻度を減らし、負担を軽減。
- オンライン参加の導入: ZOOMやオンラインでの参加を可能にし、遠方からの参加を容易にする。

6. 情報発信と資料提供

- ホームページの改善: 最新情報をわかりやすく整理し、過去のドキュメントを体系的にアーカイブ化。
- 研修資料のデータ配信: 研修後の動画や資料をオンラインで提供し、復習を容易にする。

7. その他の要望

- 読書感想文コンクールの改善: 応募方法の簡略化や個人応募の導入を検討。
- 図書館職員の待遇改善: 非正規雇用の職員の待遇改善に取り組む。

E.O.F